





柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり

年齢や性別、国籍、障害の有無などにかかわらず、誰もが、ともに生き、支えあい、自分らしくらすことができるしくみづくりや、県民が安心できる保健・医療体制の整備に取り組み、いのちが輝き、生き生きとくらす神奈川をめざします。

いのちとマグネットの視点

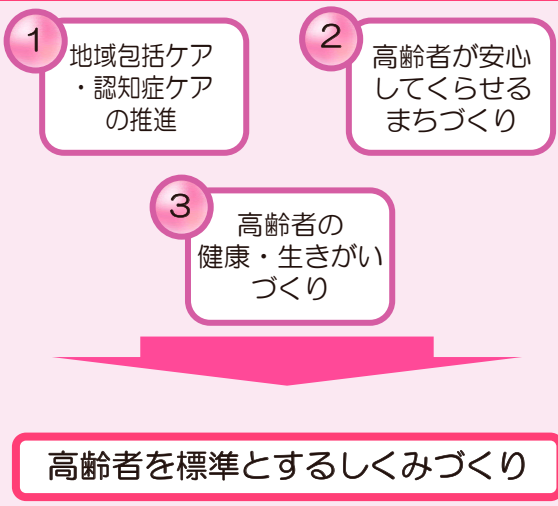
-  医療の先進県として、こころとからだの健康を“守る”
-  病気にならないくらしを“創る”
-  誰もが生きがいを持ってくらしを“楽しむ”
-  年齢・性別・国籍などにかかわらず、お互いに“尊ぶ”



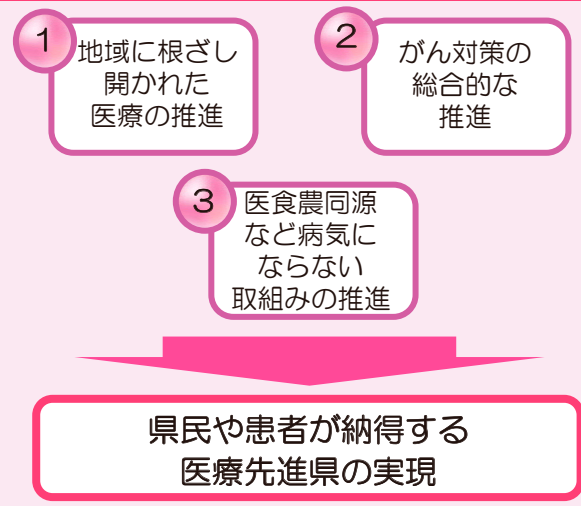
医療の現場(処置をする医師たち)

プロジェクト

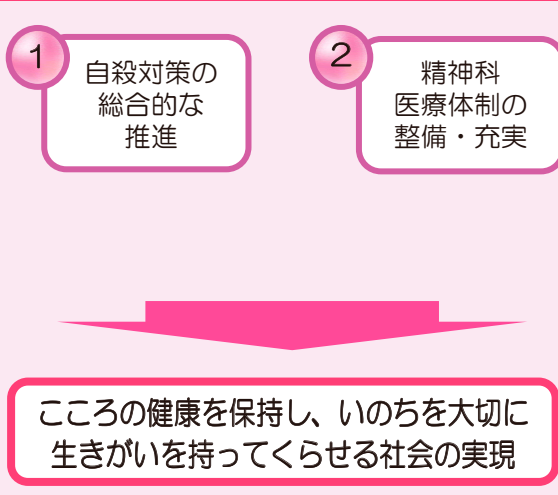
6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり



7 県民が安心できる保健・医療体制の整備



8 こころといのちを守るしくみづくり



医療のグランドデザイン

高齢化の進展による救急患者の増加や医療人材の不足など、様々な医療の課題に対応するとともに、医療の受け手である患者、家族が納得できる医療を推進するため、都道府県初の医療全般にわたるグランドデザインを策定します。

また、情報通信技術（ICT）を活用して、カルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業などに取り組みます。



柱Ⅲ いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり



医食農同源の推進

医食農同源とは、病気を治療するのも、日常の食事をするのも、ともに生命を養い健康を保つために欠くことのできないもので、源は同じだという考えに、さらに食材等を育てる「農」を取り込んだ健康観です。この医食農同源を推進し、食生活習慣の改善などの取組みと併せて、若い人も高齢者も、病気にならずに元気で健康にすることをめざします。



9 障害者の地域生活を支えるしくみづくり

- 1 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実
- 2 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援
- 3 バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

障害者が安心してくらしらせる地域社会の実現

10 男女がお互いを尊重しともに活躍できる社会づくり

- 1 男女共同参画の推進
- 2 男女がともに働きやすい環境づくり
- 3 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

男女共同参画社会の実現

11 多文化共生の地域社会づくり

- 1 外国籍県民がくらしやすい環境づくり
- 2 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援
- 3 多文化理解の推進

多文化共生社会の実現

12 健康で豊かな人生を築くスポーツ振興

- 1 ライフステージに応じたスポーツ活動
- 2 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

誰もがスポーツに親しめる社会の実現

プロジェクトのねらい

- ♪ 高齢者を標準とするしくみづくり
- ♪ 若者から高齢者までとみにくらす地域づくり
- ♪ 高齢者が健康で生き生きとくらすしくみづくり

高齢者が急速に増加する中、介護が必要な高齢者が増えています。また、高齢単身世帯の増加、地域のつながりの希薄化などにより、高齢者の孤独死が懸念されており、地域における元気な高齢者の活動の場づくりなども求められています。

そこで、必要な介護サービスを身近に利用できる地域包括ケアの推進、認知症ケアの推進、多世代近居のまちづくり、健康・生きがいづくりなどに取り組み、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きとくらすよう、高齢者を標準とするしくみづくりを進めます。



特別養護老人ホームでの介護

具体的な取組み

1 地域包括ケア・認知症ケアの推進

- ☞ 医療、介護などのサービスが切れ目なく提供される地域包括ケアを推進するため、地域の拠点となる地域包括支援センターの支援などに取り組みます。また、成年後見制度の利用支援など権利擁護のしくみの充実に取り組みます。
- ☞ 福祉・介護サービスの質と介護職員の意欲の向上を図るため、働きながら参加しやすい研修の開催など人材の育成を図るとともに、介護にまつわる感動的なエピソードを募集・表彰する「かながわ感動介護大賞」や若年層への福祉・介護の仕事の魅力紹介、就業の支援などを通じて人材の定着・確保を進めます。
- ☞ 認知症の人や介護する家族を支援するため、認知症疾患医療センターの設置促進や認知症コールセンターの運営など、適切な医療の提供や相談支援に取り組みます。
- ☞ 高齢者の状況に応じたサービスが受けられるよう、特別養護老人ホームなどの介護保険施設の計画的な整備を進めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 職員研修などによる地域包括支援センターの機能強化	県	地域包括支援センター職員の研修の開催		
② 研修の開催など福祉・介護人材の育成や就業支援など人材の定着・確保の促進	県	研修の開催、就業支援などの推進		
③ 認知症疾患医療センターの設置促進など総合的な認知症対策の推進	県	総合的な認知症対策の推進		
④ 特別養護老人ホームなどの介護保険施設の整備への支援	県 市町村	施設整備への支援		

2 高齢者が安心してくらすまちづくり

- ☞ 高齢者と子育ての世帯がともに安心してくらすよう、住宅団地と駅周辺を一体として捉えた地域において多世代近居のまちづくりを支援するとともに、バリアフリーのまちづくりを推進します。
- ☞ 高齢者が安心してくらす住まいの確保を図るため、サービス付き高齢者向け住宅の供給を促進するなど、多様な住まいの普及に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 高齢者と子育て世代がともにくらす多世代近居のまちづくり	県、市町村 民間	モデル事業の実施		
② サービス付き高齢者向け住宅の供給促進	県、市町村 民間	促進体制の構築と情報提供		

3 高齢者の健康・生きがいづくり

- ☞ 高齢者が健康で生き生きとくらすよう、経験を生かした就業の支援やボランティア活動などの社会参画、スポーツ・文化活動などの健康・生きがいづくりを進めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 社会参画活動やスポーツ・文化活動などの健康・生きがいづくり	県 市町村	健康・生きがいづくり		

プロジェクトのねらい

- ♫ 県民や患者が納得する医療先進県の実現
- ♫ がんにならない・負けない神奈川づくり
- ♫ 病気にならないための生活習慣の改善

救急患者が増加する中で、比較的軽症な患者が救急病院に集中するなど、地域の救急医療機関において患者を適切に受け入れることが困難になっています。一方、産科などの病院勤務医の確保は厳しく、看護職員についても今後大幅な不足が見込まれます。また、がんによる死亡は依然として増加しており、生活習慣病を減らす取組みが求められています。さらに、本県では高齢者が急増し、医療と介護の連携や病気にならない取組みなど高齢化への対応が必要となっています。

そこで、救急医療の充実や医師、看護職員などの医療人材の確保、がん対策の総合的な推進、医食農同源など病気にならない取組みを進め、県民や患者が納得する医療先進県をめざします。



モデル人形を使用した看護実習の様子

具体的な取組み

1 地域に根ざし開かれた医療の推進

- ☞ 身近な地域で適切な医療を受けられるようにするため、救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援を行うとともに、地域における医療と介護の連携などに取り組みます。
- ☞ 県民が安心できる地域医療体制を整備するため、修学資金の貸付け、職員の子どもを預かる病院内保育への支援など勤務環境の改善、離職防止・再就業に向けた研修の実施など、医師、看護職員などの医療人材の確保に取り組みます。
- ☞ 患者中心の開かれた医療を実現するため、情報通信技術（ICT）を活用したカルテなどの医療情報を患者や病院内外で共有するためのモデル事業や、西洋医学と東洋医学の連携などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 救急医療や小児・産科医療を行う医療機関への支援	県市町村	医療機関の整備運営への支援		
② 医師、看護職員などの医療人材の確保	県民間	修学資金の貸付け、研修などの実施		
③ ICTを活用した医療情報の共有	県民間	医療情報の共有方法の検討、モデル事業実施		

2 がん対策の総合的な推進

- ☞ がんによる死亡を減らすため、がん予防の普及啓発やがん検診の受診促進など、予防や早期発見に向けた取組みを進めます。
- ☞ がん医療の充実を図るため、県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入を進めます。また、早期診断に向けた新たな診断技術の研究開発にも取り組みます。
- ☞ がん患者が安心して療養生活を送れるようにするため、緩和ケアの推進や相談支援、情報提供など、がん患者・家族への支援に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① がんの予防や早期発見に向けた取組み	県、市町村民間	普及啓発、研修などの実施		
② 県立がんセンターの整備や重粒子線治療装置の導入	県立病院機構	工事	開院	装置据付・調整
③ がん患者・家族への支援	県民間	相談支援、情報提供などの実施		

3 医食農同源など病気にならない取組みの推進

- ☞ 若い人も高齢者も、病気にならずに元気で健康に過ごすことができるようにするため、食生活習慣の改善に向けた普及啓発や、医食農同源の考え方に立った、健康増進に役立つ食の研究や県内産農産物の活用などにより、未病を治す取組みを推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 食生活習慣の改善に向けた普及啓発や医食農同源の取組み	県	普及啓発、研究などの実施		

プロジェクトのねらい

- こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってらせる社会の実現
- 身近な地域で精神科医療を受けられる体制の構築

本県の自殺者数は1998年に急増し、その後も2007年以降1,800人を超える高い水準で推移しています。自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題や雇用問題など様々な要因があることから、市町村、関係機関、民間団体などと連携し、県全体で取り組む必要があります。また、精神疾患の患者が増加傾向にあり、精神科医療体制の整備・充実が課題となっています。

そこで、関係機関との連携などによる自殺対策の総合的な推進、精神科医療体制の整備・充実に取り組み、こころの健康を保持し、いのちを大切に生きがいを持ってらせる社会の実現をめざします。



県立精神医療センターの整備イメージ

具体的な取組み

1 自殺対策の総合的な推進

- 自殺のサインに早期に気づき、自殺を予防するため、普及啓発や人材養成研修、いのちの尊重に関する教育などに取り組むとともに、メンタルヘルスの問題を抱える労働者や企業、多重債務者などへの相談支援に取り組みます。
- 自殺を図った人が直前にかかっていることの多いうつ病の早期治療を進めるため、医療関係者の研修やかかりつけ医と精神科医の地域における連携強化などのうつ病対策に取り組みます。
- 精神疾患を持つ人などが孤立することなく地域生活を送れるようにするため、精神科医や精神保健福祉士など多職種の専門チームによる訪問支援に取り組みます。
- 自殺未遂者が再び自殺を図ることを防ぐため、関係機関との連携体制を整備するとともに、自死遺族の集いに対する支援などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 自殺予防対策の推進	県、市町村 民間	普及啓発、人材養成研修、相談支援		
② うつ病対策の推進	県、市町村 民間	医療関係者への研修、地域における連携強化		
③ 多職種の専門チームによる訪問支援	県	精神疾患を持つ人などへの訪問支援		
④ 自殺未遂者、自死遺族への支援	県 民間	関係機関との連携などによる支援		

2 精神科医療体制の整備・充実

- 精神疾患を持つ人がいつでも適切な医療を受けられるようにするため、休日・夜間における身体合併症患者受入体制の整備を行うなど、精神科救急医療体制の充実に取り組みます。
- 精神科医療の機能強化を図るため、県立精神医療センターの整備（芹香病院とせりがや病院の一体化）を進めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 休日・夜間における精神科救急医療体制の充実	県、市	身体合併症患者などの受入体制の整備・充実		
② 県立精神医療センターの整備	県立 病院機構	工事		開院

プロジェクトのねらい

- ♣ 障害者が安心してらせる地域社会の実現
- ♣ 誰にもやさしいバリアフリーのまちづくり

「施設・病院から地域へ」という理念のもと、障害者の地域生活への移行をより一層進め、障害者一人ひとりのライフステージやライフサイクルにあわせて、必要な人に必要な支援やサービスが届く体制づくりが求められています。

そこで、地域における「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実、「いきがい」を高める社会参加や就労の支援、誰もが「ささえあい」ながらくらすためのバリアフリー化の推進などに取り組み、障害者が安心してらせる地域社会の実現を図ります。



サービス管理責任者研修の様子

具体的な取組み

1 「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実

- ☞ 障害者の地域における住まいを確保するため、グループホームなどの設置運営や入居を支援します。
- ☞ 一人ひとりの障害の状況や特性に応じた支援を行うため、専門的な対応ができる人材を養成するなど、地域におけるサービス提供体制の整備に取り組みます。
- ☞ 障害者が安心して地域で生活できるよう、高度専門的なリハビリテーションの拠点施設として、神奈川県総合リハビリテーションセンターを再整備します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① グループホームなどへの支援	県市町村	設置・運営の助言や補助		
② 専門的な支援を行う人材養成	県	人材養成のための研修の実施		
③ 県総合リハビリテーションセンターの再整備	県	設計	工事	

2 「いきがい」を高める社会参加や就労の支援

- ☞ 障害者の地域生活・日中活動の充実を図るため、地域活動支援センターの運営を支援するなど、社会参加を促進する環境整備に取り組みます。
- ☞ 障害者の就労を支援するため、障害者就業・生活支援センターにおいて就労の相談や訓練などを実施します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 地域活動支援センターの運営の支援	県市町村	運営の支援		
② 障害者就業・生活支援センターによる就労の支援	県	相談、訓練などによる就労支援		

3 バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり

- ☞ バリアフリーのまちづくりを推進するため、民営鉄道駅舎のエレベーター整備の支援や幅広歩道の整備、横断歩道部の段差解消、県立都市公園施設のユニバーサルデザイン化などに取り組みます。また、障害者や障害に対する理解を深める取組みにより、心のバリアフリーを進めます。
- ☞ サービスの利用や権利擁護など障害者からの多岐にわたる相談に的確に応じるため、専門性の高い相談支援の実施や相談支援従事者の養成など、広域的な支援体制の強化を図ります。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 民営鉄道駅舎、県管理道路や県立都市公園などのバリアフリー化	県、市町村、民間	エレベーター設置への支援、道路・公園の整備		
② 専門的な相談支援体制の強化	県	専門的・広域的な支援の実施、人材の養成		

プロジェクトのねらい

- ♣ 男女共同参画社会の実現
- ♣ 仕事と家庭を両立できる環境づくり
- ♣ 配偶者などからの暴力の根絶

男女がお互いを尊重し、ともに個性や能力を発揮するためには、あらゆる分野での女性の参画が重要ですが、政策・方針決定過程への参画が進んでいるとは言えません。また、長時間労働など男女が仕事と家庭を両立することが難しい状況となっています。さらに、配偶者などからの暴力による被害も複雑化、多様化しています。

そこで、男女共同参画の推進、男女がともに働きやすい環境づくり、配偶者などからの暴力防止と被害者への支援などに取り組み、男女共同参画社会の実現を図ります。



かながわ女性センターでのパパもいっしょのイベント

具体的な取組み

1 男女共同参画の推進

- ♣ 女性の政策・方針決定過程への参画促進や多様な人材の活躍を支援するため、あらゆる分野での男女共同参画に資する講座、イベントを開催します。
- ♣ 女性のキャリアアップ、就業・再就業などを支援するため、かながわ女性センターの機能を生かした講座や相談、カウンセリングなどを実施するとともに、国と協力した女性の就業支援に取り組みます。
- ♣ 男女共同参画意識の普及に向け、市町村やNPOなどを支援するとともに連携して取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 女性の参画を支援する講座などの実施	県、市町村 民間	講座などによる普及啓発		
② 女性の就業・再就業などの支援	国、県、 市町村、民間	講座、相談、カウンセリングの実施		
③ 男女共同参画の理解促進	県、市町村 民間	市町村、NPOなどと連携した普及啓発		

2 男女がともに働きやすい環境づくり

- ♣ 男女がともに生き生きと働ける職場環境づくりを実現するため、企業訪問などを通じて女性の能力発揮に向けた企業自らの積極的な取組みを促進するとともに、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）に向けて、中小企業などを対象にしたアドバイザー派遣、働く母親に対するカウンセリングなどを実施します。
- ♣ 男女がともに働きながら子育てしやすい社会を実現していくため、子育て支援に取り組む事業者認証制度の普及や男性の家庭・育児参加など社会全体で子育てを支援する環境の整備、市町村と連携した保育サービスの充実や小学生の放課後児童対策に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 男女がともに生き生きと働ける職場環境づくり	県 民間	企業訪問の実施、ワーク・ライフ・バランスの推進		
② 男女がともに働きながら子育てしやすい環境づくり	県、市町村 民間	事業者の認証制度の普及、保育サービスなどの充実		

3 配偶者などからの暴力防止と被害者への支援

- ♣ 配偶者や交際相手などからの暴力防止に向けた普及啓発に取り組みます。
- ♣ 暴力に悩む女性などを支援するため、市町村やNPOなどと連携して、相談、一時保護、自立支援に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 配偶者などからの暴力の防止に向けた普及啓発などの実施	県、市町村 民間	普及啓発の充実		
② 被害者への支援	県、市町村 民間	相談、一時保護、自立支援の実施		

プロジェクトのねらい

- 多文化共生社会の実現
- 留学生にとって魅力ある環境づくり

県内には多くの外国籍県民が暮らし、その国籍もアジア諸国から中南米諸国など多岐にわたっています。そうした中で、外国籍県民が抱える課題は、教育や子育て、高齢化など多様化、複雑化しています。また、県内企業への就職希望など留学生の様々なニーズへの対応も求められています。

そこで、外国籍県民がくらしやすい環境づくり、神奈川でくらし学ぶ留学生への支援、地域における多文化理解の推進などに取り組み、多文化共生社会の実現を図ります。



あーすフェスタかながわ

具体的な取組み

1 外国籍県民がくらしやすい環境づくり

- 県内で学び働く外国籍県民が地域で円滑なコミュニケーションを図ることを支援するため、国際言語文化アカデミアにおいて、外国籍県民を対象とした日本語講座やボランティアを対象とした語学講座などを実施します。
- 県立高校に通学する外国籍の生徒が充実した学校生活を送れるよう、通訳や学校生活を支援するサポーターを派遣する取組みを進めます。
- 外国籍県民が安心してくらしらせるよう、多様で複雑な生活課題の解決に向けた支援の実践者などのスキルアップのための研修を実施します。
- 災害時における外国籍県民支援の充実を図るため、市町村や関係機関とも連携して多言語による情報発信などの取組みを進めます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 外国籍県民のコミュニケーションを支援するための日本語講座などの実施	県	日本語講座などの実施		
② 外国籍の高校生に対する学習や学校生活の支援	県	県立高校への通訳や支援サポーターの派遣		
③ 外国籍県民の課題解決に向けた支援者研修の実施	県 民間	支援者のスキルをアップする研修の実施		
④ 災害時における外国籍県民支援の推進	県、市町村 民間	市町村などと連携した支援の充実		

2 神奈川でくらし学ぶ留学生への支援

- 神奈川でくらし、学ぶ留学生のニーズに応じた支援を行うため、「(仮称)かながわ国際留学生サポートセンター」機能を整備し、大学やNPO、企業などと連携した取組みや、情報発信などを行います。
- 県内での就職を希望する留学生を支援するため、企業や大学などと連携して、就職支援セミナーの開催や県内企業とを結ぶマッチング機会の提供などに取り組みます。
- 留学生と地域のつながりが深められるよう、留学生による学校などでの国際理解講座の実施や交流事業の参加への支援を行います。また、これにより、子どもたちの国際理解の推進にもつなげます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 大学やNPO、企業と連携した留学生支援機能の整備	県 民間	調査・準備	コーディネート、情報発信	
② 企業や大学と連携した留学生の就職支援	県 民間	セミナーや県内企業とのマッチング		
③ 留学生と地域との交流と子どもたちの国際理解の機会提供	県、市町村 民間	学校などでの国際理解講座などの実施		

3 多文化理解の推進

- 地域における多文化理解を推進するため、地球市民かながわプラザを中心とした学習機会や情報の提供を行うとともに、外国籍県民やNPOなどと連携した多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ」を開催します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 地球市民かながわプラザを中心とした多文化理解の推進	県 民間	多文化理解の学習機会や情報の提供、あーすフェスタの開催		

プロジェクトのねらい

- 誰かがスポーツに親しめる社会の実現
- 気軽にスポーツができる環境づくり

スポーツは、人々が心身ともに健康で、感動や楽しみ、活力に満ちた心豊かな人生を築くための重要な役割を果たしています。また、県民のスポーツに対するニーズは多様化しており、スポーツを通じて、心身ともにたくましい子どもの育成や、高齢者の健康の維持増進などを図ることが重要になっています。

そこで、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツに親しめるしくみ・場づくりに取り組み、誰もがスポーツに親しめる社会の実現を図ります。



スポーツイベントでの子どもの外遊び

具体的な取組み

1 ライフステージに応じたスポーツ活動

- 誰もがスポーツに親しみ、心身ともに健康で豊かな生活ができる生涯スポーツ社会の実現に向けて、子どもの外遊びの奨励、学校と地域が連携した部活動の活性化や子どもの健康・体力づくりの推進、成人期にスポーツに親しめるよう、1日30分、週3回、3か月間継続してスポーツを行い、スポーツをくらしの一部に習慣化する3033運動の推進、高齢者の日ごとの健康やスポーツ活動の成果を発表するスポーツ大会の開催など、乳幼児から高齢者までのライフステージに応じたスポーツ活動を推進していきます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	県市町村	様々なスポーツ活動の推進		

2 誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり

- 県民の多様なスポーツ活動のニーズに対応できるよう、体育センターが担う広域スポーツセンター機能を生かした総合型地域スポーツクラブの支援やアスリートの育成、優秀選手の表彰、障害者スポーツの推進など、スポーツを支えるしくみの整備を図ります。
- 誰もがスポーツに親しめる環境を整えるため、県の運動施設、学校や大学のスポーツ施設の活用など、スポーツをする場の充実を図ります。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① スポーツを支えるしくみの整備	県市町村	広域スポーツセンター機能の充実など		
② スポーツをする場の充実	県市町村	スポーツの場づくり		